『專攻學社雜誌』 所載ノ伊藤圭介先生ノ

野 富 太 踉

哲次郎 (文學士)、 Æ デ世 期 治十 出タ 元田肇 (法學士)、 八唯此一號 册ノミデ其レガ始メノ終リデアッタト記憶スル 宣政 平岡盛三郎ノ諸氏ガ居ラレ外ニ客員ト 學士)、寺尾壽 健次郎(バチエロル、オフ、)、 館愛橘、 二岩佐巖(メキッテンムょ)、石川 (文學士), ドワル 倉田吉嗣 (理學士)、 理學士)、 F **穗積八束、** 大谷木備一郎 エス、 、高橋一 Æ 1 一勝 外山正一、 n ス(アヒロソフヒー、オフ、

明治十四年十二月十日ニ『専攻學社雜誌』第一冊ガ東京デ發刊セラレタ此雜誌 富士谷孝雄(理學士)、 渡邊讓 (理學士) ハ明治十一年十月二十 ノ四氏ガ創立 **社員ニハ右四氏** 千代松、 シ タ専攻學 で種積陳重の四氏ノ外 Ħ = 祉 井

千頭清臣

宮崎道三郎(法學士)、白石直治(理學士)、 木忠次郎(理學士)、菊地大麓(アニスター、オラ、)、 松井直吉 (アシロトストメテト、)、小藤文次郎(理 村岡範為馳(デタトル、フォン、)、 (理學士)、有賀長雄、佐々 矢田部良吉(ガジャカルン 隈本有尚、 (法學士)、 (法學士)、 植田豐 田中 山 甲賀 ĴΪ

ア ッ 次郎、 攻學 井上哲次郎氏 本局」ハ東京神田 首 化之源因 社記 テ 丸屋善七ヲ始 圭 Ź 隈本有尚 介 'ッテ居 ŀ 文漢 第 卷 ノ「アリス 啉 次ニ明治十二年二月ニ議定セル「專攻學 頭 氏 n, メト 四氏カラ提出セラレタ雑録ガ列記シ 區淡路町二丁目四 | 其雜誌 此一冊ノ定價ハ貳拾五錢デ署名セ 寺尾壽氏 世 **≥**⁄ ŀ テ十九軒、 話 編 ĵ ッ 者 ŀ n 「平均線ノ論」、 識セル「專攻學 ノ傳」ガアリ、 テ 番地 池 地 方 田 謙 ノ國文社デ、 賣捌所 次っ 社雜誌 有賀長雄 理學博士 伊 藤圭 介 先生 ガ 『錦黛舞博物會誌』 京 ニ據ル 都ノ駸々堂ナド n テアリ 府下ノ賣捌所 社 通リ 則 雜 引 「編輯人」 沒 ヲ帯ビタ淡 爲 報 氏 v ŀ 鳥 希 テ ナ , ガ アリ、 欄 居 右 雜誌 次ニ 我大日本 望シ ア 再 7 = 倫 ガ 伊 ~ 理化醇說 リ人 藍芭 明 ア 記 ガ新橋 ス 藤 テ 治士 專攻學社紀 次ニ本 生介 大サ 同 說居 事 元田肇氏、 ッテ石川千代松、 n 氏 ジ 論 ıν 先生 洋 四 ハ菊版 說 此 知 ŋ 竹 ガ 文欄 ラヌ 十九軒デアル、 關 紙 Щ 年十二月調專攻學社社員姓名」 ヲ 批 町 植 1 ヲ 再 = 角・中共 雜誌 |國文社 事」 世人 デ 「印刷人」 錄 物 セ 櫻花 アル ラ シ ハノ 参考 加 究雜 シ テ = 伊藤圭介氏 V 次二井上哲次郎氏ノ「 登載 聊 表題 藤弘之氏 テ 田中館愛橘、 テ 居 力 ハ竹中邦香、 支廛 其表紙 斯學! 文字 我 = セ ッ ヲ 藤 ラ タ 邦 ハ寫眞 時 載 圭 = ヲ テ ァ 日本橋通 K ス 櫻花說 多少紫色 ハ之ヲ 此 佐々木忠 貢獻 供 7 n H **≥**⁄ 本 主 ガ テ シ jν

發兌

專

ガ

示

ス

タ

タ 埋 1 デ

花

初 右

|専攻學社雑誌』所載ノ伊藤圭介先生ノ「櫻花説

專攻學社雜誌』所載ノ伊藤圭介先生ノ

「櫻花說

=

供

ン

ŀ

ス

是

亦無

益

一ノ贅

言

非

ズ

ŀ

自ラ

信

ズ

レ

N

ナ

'n

斯ノ如 狀ス ŀ べ 鈴屋 稱 カラ + 衆芳 翁 Ť 支邦 歌 = n 冠 = 美觀 牡 シ Þ 朝日 升 w ヲ ` 實二 匂 灌 ゚゙ヺ 木 我邦 山 ァ シ 櫻花 Þ 氵 n シ 名花 Æ テ ŀ , 咏 タ = 沙 z n v 至 ヲ以 テ n þ æ 誇 テ 是豈櫻花 稱 是此 今此 n 花 ŀ 花 ノ為 Ξ 研 係 メ 艷 泥 ij = ナ タル 第 怜 IJ æ ノ知己 談 旭 故 一柄ヲ H 本 揭 卜 相 邦 ゲ 云 胦 テ ジ テ ザ 單 初學 jν 融 = ~: \tau 花 **子博物**參 ケ ŀ ŀ 云 ン シ テ殆 ャ 考 ĭ **١**° 櫻 助 名 ナ

先ッ ヲ以 而其種不"止數十品] 不」可」不」辨矣、 テ食用 故 ラテコユ = , ニ此翁ノ多識 名實ヲ ŀ ス **ラム** シ 賞スベ メニ Œ ŀ ト難、 * セ 云ヘリ、 樱桃是· 充 ン æ 'n , 亦是ヲ 櫻 ハ = 訛ナリ、 小樹不,數尺,便結 シテ 然 一字 レド 一失 此果 モ櫻ト 然ル ハト謂 即チ = 形 櫻 櫻桃 小野蘭山翁ノ盞筵小牘 --)j** 稍 桃 n 桃 ナ ベベカ ハ和漢一 y 似 老者不、踰、丈、 ラ Ø 别 ヹ、 'n 物 類別種ナル ヲ B /以テ、 n = ハ 櫻桃 非 ヤ ズ、 其賞在 樱花是大木老者不, 啻數抱 ノ一名ア 其 ソノユ 、果實 實而其種不、過॥數品 スラト酷 ルナリ、 ハ 和 產 先輩 ダ殊ナル 比 ス アノ説 v الار ゛ガ 名同 如 往 酷 賞 々櫻 キ ダ 而 大 花 非 物 桃

覺等,日 今亦香車寶馬 欣賞 云フ、 斯ノ如ク漢産ノ者 櫻花無シト云フニ至ルナリ、又近歲清人黄遵憲 セ 爛慢極矣、 ル狀 其佗淸客心越、 使中 ルヲ觀 士女徵逐、 ルベ 東皇第一 國有,之當、冠,百花、、 種類"櫻 シ、 和產 陳元贇等 桃 愛"櫻花」、ト 叉湖亭涉筆 學國若、狂也、 ŀ ハ同 ノ敷 類異 云 其說「櫻花五大部洲所」無、 種 ŀ 東人稱爲"花王」 一云シ ナン 文恭 往往此 疑接以 バリ ŀ (朱舜水ノ諡) ゾ 土ノ櫻ヲ愛玩スル 紅他樹 支那ノ僧道 日本 往々淸客 墨江左右有"數百樹」如、雪 故色相亦變、 事詩ニ、 酷"愛"櫻花」 本ノ詩 ハ我國無"此花!ト 有点深 ノ詩多 ...; = 朝曦看到夕陽斜、 紅、 三月花時、 シ、 東來 庭植』數千株」、 有"淺絳" 皆我邦ノ花ヲ創見シ 始見』此 云 又貝原翁 如 北花奇」 公卿百官、 流水游龍鬪」寶車 亦有"白者! 毎 如 叉獨 ノ考 \錦如\茶、 皆給暇賞 ニモ 立 |賞| 極 メテ 海 重至 八 漢 國 之ヲ

枝上ニ

n

異ナリ

亦彼土ニ

此

花 直

7

ヲ

徵 _

ス

n

=

足

レリ、

質問本草ノ漂船ノ清人モ、

皆サクラヲ櫻桃、

鶯桃ト答フ

n

Æ

ノ亦相符

セ

一他ナラ

ヹ、 花

稻若水

モ

而ル

_ _

一先輩

此 jν ス

ŀ

固

3

ŋ

櫻桃

ノ圖

アリ

其狀全

7

月 崩 心ハノ į, ケカ 地 ラ 7 眞 ジ 如 ŀ √置∵身 ノ意ヲ、 蓬 萊 亦標シ 中 Þ ŀ n 云 ナリ、 ŋ 此 タリ、 然レド 學、國 Æ 若 彼土ニ 江狂 ŀ æ ` 其花ヲ賞スベ 業平 1 世 1 中 + = 者全ク無 絕 テ 櫻 , ナ 非ズ、 力 y セ 蓋只其 バ 春

兩浙 | 輔軒 稀二 テ 尋常之ヲ 花ヲ 咏 觀 ズル七古アリ n = ŀ ・多カラ ザ 絲々春] n ト見 雨縈,春烟,、 æ, 樱桃盛 放爭 fu春妍」、 近日如何減 顏 色 雨 驟 更

苦風來顚 中畧 寄語花須:緩々開 花熳爛一街、盃、 ۴ アリズ、ユルユルト花ノ保ンコ トヲ述ベシ情ナリ、

其他古今櫻 桃花ヲ咏ズ ル詩尠カラズ、 ノ鄒一桂ノ小山畫譜 ニ載スル ノ説ニ、 唐時宴』新進

櫻桃宴 丈 ŀ 7 ŀ y アリ、 雅 櫻桃 =, Æ 櫻桃 ž ユスラナラバ、 爲、木多陰、 矮小灌木ノ下ニ宴ヲ開ク可 ン 4 ヤ 近歲舶齎 又演點紀游二櫻桃樹極大、 植物名實圖考ヲ 閱

サクラニシテ、 叉唐畫ノ花鳥圖等ニ、 花梗長クシテ一部ニ攢簇セリ、 上皆 喬木ノ狀ヲ云ヘリ、 櫻花ヲ寫ス モノ間、アリ、ソノ狀實ニサクラニ 況ン

ユスラノ花小ニシ

テソ

ノ梗無ク、

/論ヲ 竢 イト 樹 ザ ヲ以テ、 'n B / ラヲ ý 或ハ海 ナリ、 垂 一絲海 棠ニ属シ、 軟條海棠ト イト ザクラヲ 云~り、 然レド 垂絲 海 Æ 棠トシ、 亦真 ノ 海棠ニシ 眞ノ海棠 テ、 ヲ南京海棠 イト ザ クラ ŀ ス ノ説ア ハ

叉佐藤氏愛日樓 決無、疑也、 以雪"其冤'者" ラ **甞怪世之以。多識,自標者、** 文中, 、何其名葩之不幸、 浪華蒹葭堂ノ櫻花譜ノ序ニ來舶 ۲ 此説斷然決定ノ如クナレド 必欲、得,彼之名,、 ノ清客、 或充以"白樱桃 此 花 「ヲ激賞」 æ 却テ惑説 チ 云 ヲ y, 人々而 論 未常有如一人為咖啡解 其 爲 彼之所, 無者割

ス

v

37

余甞ァ洋々社 ク筆ヲ閣 談中 櫻花ノ說ヲ登載 他日叉續出スベ セ Ÿ, 今之ヲ増訂 玆ニ稿 以下説亦冗長ナ ۶۷ • 看官 , 催 腄

ヲ

『專攻學社雜誌』所載ノ伊藤圭介先生ノ「櫻花說

が其

v

ハ五十年程モ前

ノ古ル頭ノ

持主デア

n

寄命氏ノ

「上野公園櫻花ノ種

類

H 伊 主 全 介先生 ハ久シ ク 別 イ間 種 說 鴚 ハ 内外ノ學者ニョ 此 チ 支那ノ實ざくらデ = テ **了** ッ テ居 ッ n テ我 7 此 ベガや N 肼 = 分 まざくらノ ۲ = ガ ハ 櫻桃 判 ッ ヲ我 タ、此實ざくらハ學名ヲPrunus pseudo-Cerasus Lindi 名デアル ガやまざくらナ ŀ 間違 ヘラ **ا** レテ居 ŀ 同 ッ , タ 品 ヹ ŀ 理 思 夣 ッ 博 テ 土 居 一小泉源 ッ ガ

叉櫻桃 違フ ウデ ナケレ Ш ŀ タガ デ Æ 'n ハ始メテ之レガ支那ノ實づくら即 樣 ァ 此 岼 ハ ショゆ 兩 ニナッ 其後ニ歐洲 ラ ブ ナ JV 種 べ 1 ナ ゥ ラ すらう キ ヲ 漫然ト タ通常 又 Ŧ ノ花ガ咲 櫻桃 7 Ŕ デ斷 種 Þ 櫻 世 ナド 漢名 ハキチ 然此 桃 叐 實ざくらガ 八此洋 ŀ ŀ 唱 支 Ħ デ 稱 那 此 ^ ッ テ怪 ヘシ 種 種 產 ŀ 來 ノ眞 我 ノ者ヲ ゝ 支那 テ羽 がチ櫻桃 時 ガ 代 ズ U , ・モ櫻桃 爲 櫻桃 がん 前 Ź ハ 疾 メニ 特產 邊ノ - 學名デ ウニ ざくら ŀ 區 東北 種 デアル春葉 ŀ æ 呼 類 别 7 ゥ シ 地 **≥**⁄ = 過 テ置 似 デ居 混 方 n 雜 (テ居 去 デ = ヲ 大 = トヲ發見 力 = w 招 ナ 先 ガ ネ n = 其レ 結實 ッ ッ ク ٧V テ淡 ナ タ Ŧ 洋 • ź 敢 種 セ ス アテ意 大 ラレ 若 ヌ 紅 n 者 樣 我 色 ナ シ 今 邦 ル誤 ホーナ ŀ 洋 (小泉君 Ħ セ ý 園 リデ ヌ 種 ŀ 7 初 ダ ノ 櫻 稱 藝 ハ 家 唯支那 桃 夏 ソ . پ 何 白 明 ノ ン = ŀ 分類 候 色 治 ナ タ 力 事 jν 叉 產 ŀ 其 ノ 不 嵾 實 初年頃 Ŧ ٠, 記 言 甪 者 西 者 シ ガ 意不 普 洋 テ ナ フ 扂 人 櫻 ŋ 3 通 · 見識 根 桃 我 ガ ガ V 7 櫻 邦 本 ۴, ŀ 市 桃 的 ッ ナ 力 Æ 場 渡 タ サ デ =

藤野寄命氏 ノ「上野公園櫻花ノ種 類

野 當 太 狼

牧

園藝會雜誌 觀 第 n 第九十二號ニ載セ 號 ŀ 當時同公園 ュ東京上野公園 「ノ櫻ノ テ 櫻花 アル 有様ガ分リ 且ツ今日右ノ = 就 ŀ テ藤野 ガ 見エ テ居 寄命 i 君 ガ ノ 記 ッ v ***** H タ 本園藝會雜誌』 同 櫻 花 君 調 「上野公園櫻花ノ種 查 ガ 明 ヲ 治 繙閱 三十三年 セ ン ŀ 類 ス 月 V 發 ŀ ŊŸ 題 行 之 ス V n H

篇 本 本

デ之レ

デ

誌第

卷

ノ